

三浦工業50周年記念

三浦展

「人生を楽しむ」

2009年5月16日(土)～6月21日(日)

休館日／会期中無休

開館時間／午前9時30分～午後5時(入館は午後4時45分まで)

入場料／一般500円、学生以下無料

主催／ミウラ・ヴェルジ(三浦美術館)

共催／株式会社ミウラ

後援／愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、愛媛新聞社、

南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

三浦保展 人生を楽しむ

三浦工業株式会社設立50周年は、その大半が、草創期より、強固な経営基盤造りに至る期間であり、全精力を傾注された創業者三浦保氏の闘いの歴史であったといえます。文化が個人の感性に由来すると全く同義語として、企業文化の形成には経営者の思想、信念がその基となると考えます。そのようにしっかりと意識され、一流の企業造りを決意され、企業は人なりならば、社員が一流であるように、そしてそのためには経営者が一流であらねばならないと自己規定されたと思われまふ。

ほんの数名であった町工場の時代に、「世界一安くて良いボイラを創ろう」というスローガンを掲げられ、仕事に対する取り組み方はもとより、日々の行動一つ、仕事以外にいたるまでも一流を志向されました。趣味、遊びであっても自分を高めることができるものでなければ、高次元での判断を仕事においてはできないものなのだという考え方であったと思われまふ。そのことが、能、陶芸などへの姿勢にもはつきりと現れています。「何の道においても流を目指さなければ、所詮は単なるお遊びになり、結局はその本質と出会うためにやめてしまうことになる。流を目指すためには、一流の師に付くことが何よりも大切である。」とは常々言われていたことであります。

三浦工業株式会社50周年を機に、企業として更に発展を目指すとき、創業者の経営者としての人間形成への強い決意とその根拠に思いをめぐらすことは、何より重要なことと考えまふ。

サブテーマ「人生を楽しむ」は、三浦保氏の言葉から引用させていただいたものです。その言葉の前半は「仕事を楽しむ」です。長い道のりの中で起こる全ての事象を、積極的に受け入れ、これらと対峙された経営者としての境地が表現されていると思われまふ。経済危機に対しても、これをポジティブに捉え、その機をも活かして、社員の人間形成に熱意を注がれた氏の日々の熟思から生まれ出た言葉が書かれたものを、今回初めて展示させていただきます。それらは「公過の言葉」として書かれた文章ですが、皆様にご覧いただけるようにデジタル化させていただきました。現物そのものではありませんが、間違いなくご本人のものでありますので、展示についてお許しいただけるものと思ひます。

日本のエネルギー活用のあり方を画期的に変革した事業家の、経営哲学を支えた「遊び」から生まれた作品をゆつくりご覧頂き、併せて氏の人となりに思いをはせて頂ければ幸いです。

ミウラート・ヴィレッジ 館長 白石省三



書「仕事を楽しむ人生を楽しむ」



信楽焼メ水指



志野茶盤 銘 白虎



陶板「女」



陶板「男」



MIURART VILLAGE
MIURART

ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

〒799-2651 愛媛県松山市堀江町1165-1
TEL 089-978-6838・FAX 089-978-0323
<http://www.miuraz.co.jp/miurart>
fvbm2360@mb.infoweb.ne.jp

駐車場: 30台 臨時駐車場(三浦工業(株)福角駐車場)をご利用いただけます。

※ 駐車台数に限りがございますので、なるべく公共の交通機関等をご利用ください。

次回展覧会

久保幸造展 ～時を超えペースを描く～
2009年6月28日(日)～8月9日(日)

- ◆ JR松山駅より市内電車にて松山市駅へ伊予鉄バス北条行き内宮バス停下車徒歩約10分
- ◆ 松山空港より車で約30分